

NEW BOOK

対立から学ぼう

—中等教育における
カリキュラムと教え方—

Conflict Resolution in the Middle School
ウィリアム・クライドラー著／国際理解教育センター編訳
250ページ 定価4,200円（税込み）

日常の対立を肯定的に捉えなおす、教室で行える150のアクティビティを紹介。子どもの世界だけでなく、個人と個人、集団と集団の間の軋轢を考え、扱うのに役立つ内容です。多様であるがゆえに対立が生まれます。様々な違いを超え、対立から学ぶ姿勢を身につけることは、多様さを排除する人間関係を、多様さを豊かさに転換する人間関係へと育てていくための視点です。

目次（抜粋）

第1部 対立について

対立とは何か／対立のエスカレーター／対立における怒りの扱い方／わたしメッセージで対立を緩和しよう／アクティブ・リスニング／対立のさまざまな扱い方／対立を分類しよう／対立におけるウィン・ウィン型解決／対立における要望と本心／交渉について学ぶ／調停と仲裁について学ぶ

第2部 多様性と対立について

多様性の良さを認める／多様性と対立／文化を理解する／政治力を理解する／固定観念、偏見、差別、責任のなすりつけを理解し、それと向き合う

第3部 対立解決の通常カリキュラムへのとけこま

SEMINAR

グローバル・セミナー'97、続編のお知らせ

6月28日、29日ERIC主催、東京YMCA国際奉仕センターの協力により上記の「対立から学ぼう」の内容を紹介するセミナーを海外の講師を招いて行います。また7月2日、8日の夜にその続編ワークショップを企画中です。ぜひお問い合わせ下さい。（担当

ERIC

国際理解教育センター
International Education
Resource & Innovation Center
114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

- 6つの柱と4つのサービス ▼ ERICの国際理解は、人権・開発・環境・平和・異文化理解・未来が6つの中心テーマ
▼ ERICの活動は、研修・出版・資料室・研究の4つのサービス

■地球のみかた---地球について学ぶカリキュラム

生徒用ワークブックも刊行予定！
定価 1200円(税抜き)

バメラ・バッサマン、アンドレア・ドイル共著

国際理解教育センター編訳 167ページ 定価2,625円(税込み)

中・高等学校向けの環境教育の教材です。地球をめぐる課題について問題の構造を理解し積極的に解決策を見つけれられるよう32のアクティビティ、ディベート、模擬会議、調査、ロールプレイ、理科の実験、ゲームなど様々な手法が紹介されています。各章のはじめには、地球環境問題の全般的な理解のための解説付。環境の複雑な関連性を踏まえながら編集されています。

I 人口力学 II 気候変動 III 大気汚染 IV 水資源 V 森林破壊
VI 食料と飢餓 VII 廃棄物処理 VIII 野生生物の危機 X エネルギー問題 X 金持ちと貧困
XI 人口と経済 XII 世界の女性 XIII 問題解決

■フード・ファースト・カリキュラム ---食べものを通して世界を見つめよう

ローリー・ルービン著/国際理解教育・資料情報センター編訳 138ページ 定価2,625円(税込)

米国で考え出された、食べものを巡って、エネルギー問題、福祉・社会問題、飢えと人口の問題などに踏み込んだ、よく練り上げられたアクティビティを総合的にまとめたカリキュラムです。フードファースト・カリキュラムの到達目標は、子どもたちが身の回りの世界について批判的かつ自立的に思考し、世界形成にかかわる能力を持つ、主体的な人間になることです。

目次

- ・ どうして世界にはそれぞれ違うやり方があるのか
- ・ 私たちの食べ物はどこから来るのか
- ・ 食べ物がとどくまで
- ・ なぜ人々は植えるのか
- ・ 米国で飢えているのはだれか
- ・ 私たちにできること

推薦のことば

食料を通じてのグローバル教育への取り組み
異文化理解・地球的課題からなる新「地理A」の展開にあたっては課題認識と問題解決に向け手の態度形成・意思決定が意味を持つてくる。食料の制さんと消費をテーマに環境、人口、南北問題へとグローバル教育の概念・技法を展開した本書は、私達、社会科(地理)教育の関係者が最も取り組みの遅れた分野。態度、価値形成に社会科(地理)教育がかかわることの重要性を提示している。

(梅村 松秀 東京都立竹台高校)

■地球家族 フォトランゲージ版

写真ビーター・メンツェル/ガイドブックERIC編 B4カラー
30枚 ガイドブック20ページ 定価2,625円(税込み)

世界30か国の「家族」「家」「持ち物」からあふれるメッセージは尽きません。文化・環境・開発など幅広いテーマで写真の家族を囲んでの話し合いは私たちの生活を見直し、多様性と共通性を知り、地球規模の課題に取り組むものとなるでしょう。フォトランゲージの意味や授業案など内容豊かなガイドブック付き。

- ・ 自己理解、共感、共生ー国際理解教育の基礎
- ・ 出発点「わかること、知りたいこと」
- ・ 暮らしの豊かさ・画一化したイメージを超えるためのフォトランゲージのいろいろ

地球家族 1時間のプログラム授業案 他

こんなふうに使ってみては」活動案 他

- ・ 教室利用するにあたっての補足資料(地理的視点から)

推薦のことば

国際理解は非常に具体的なものであり、現実的な今日そのものである。文化・開発・環境といった各分野は本来的に1つのものであり、我々は人とつながり、関わることでしか国際社会の共通の課題には取り組めないのである。この教材は「暮らしとはこのように誰弁であったのか」と気づき、多様な人々と共に歩む方向をさぐる場を提供している。フォトランゲージという手法、素材も新鮮である。(米田 伸次 帝塚山学院大学 国際理解研究所 副所長)

■わたし、あなた、そしてみんな—人間形成のためのグループ活動ハンドブック

エリザベス・キャリスター、ノエル・ティヴィス、バーバラ・ホープ共著
ERIC国際理解教育・資料情報センター編訳 140ページ 定価2,625円(税込み)

人間関係の基本は「わたし」のメッセージを自分がどう伝えていくか。友・親・学校・異性などティーンエイジャーが出会う様々な事例を中心に、オーストラリアで開発された140の活動事例は人間関係を築いていくコミュニケーションの絶好の練習問題です。10代の若者と彼等にかかわる方々にぜひ使っていただきたい教材です。

目次

- 第1章 わたし・人間的成長
- 第2章 わたしとあなた・双方向のコミュニケーションと人間関係づくり
- 第3章 わたし、あなた、そしてみんな・集団の中での良い人間関係づくり

推薦のことば

この本は、青少年期に誰もが悩み、考えた問題をいろいろな各度から取り扱っている。グループ活動を基本に構成されているので、コミュニケーションや価値観をはじめ、セルフエスティームやアサーティブネスなどについては、いつでも考えを深めていくことができる。活動自体がたいへん面白い。道徳やホームルームの時間はもちろん、応用すれば社会科や国語などでも使えそうだ。また、一人であれこれ考えるにも楽しい本である。

(川崎 史人 中学校教諭)

■テーマワーク—グローバルな視点を活動の中で育てる

開発教育センター編/国際理解教育・資料情報センター編訳 143ページ 定価2,625円(税込み)

子どもが飛びつく活動、真剣に話しあうための教師のちょっとした工夫が盛りだくさんの本です。「子どもの本来のエネルギーや発想はこうすれば引き出せるのか!」と驚くほど素晴らしい手法の数々は、現場の教師たちが実践し、練り上げた賜物です。経験重視の手法からくる概念をテーマとした内容は、新しい学び方を提供してくれます。

目次

- 第1章 はじめに
- 第2章 共に学ぶ子どもたち
- 第3章 イメージ—態度と認識を育てる
- 第4章 変化—概念の感覚を考える
- 第5章 国ってなに?—国家の概念を考える
- 第6章 ルーツと旅—人や物が移動するとは?

推薦のことば

教室に新鮮な息吹を吹き込むガイドブック。過密スケジュールの中でこなされている教育指導に余念のないあなた、一度この本に載っている事例を試してみてください。きっと教室の雰囲気、子どもたちの顔つきが変わります。子どもの話し合いや作業を中心に進めていく、あらゆる教科に应用可能で新鮮な手法を、ぜひあなたのクラスでも試してみてください。

(石井正 京都市立西京極小学校)

生徒も先生も一緒に楽しめる国際理解教育の教材をこの機会に図書館に揃えてみませんか?

本ページの図書はERICの出版物の中から、中・高等教育で活用できる国際理解教育の教材を選んでご紹介しています。人類共通の課題について気づき、考え、行動する意欲を育てるための授業にすぐ使える活動集であると同時に、生徒たち自身も読み物として自分や他者、地球のことについて知るきっかけとなるものです。環境教育、外国語教育ご担当の先生方にもぜひご紹介下さい。この通信7号をご覧になって書籍を申し込まれた方には、次の国際理解教育を知る、活性化するための資料を同時に送らせていただきます。

・ ERICおすすめ国際理解教育のための資料リスト100選!

・ 国際理解教育ダイレクトリー

(担当 木野)

ERIC は、1989年に日本ではじめて、参加型でグローバルな課題について教えるための教材・アイデアを集め、そして国内で紹介するための資料・情報センターとして、設立された非営利・民間団体です。学校教育、社会教育の指導者を主な対象として国際理解教育に関する内外の文献、資料の翻訳・収集・閲覧サービスを行うとともに、各地で研修会などを開催しています。

■「ペドロの開発」ver.1

テッド・トレーナー作 20ページ
定価500円
全15シーンの簡単な台本で開発から援助、債務危機までがわかります。
夏のツアーでは、テッドのオルタナティブ教育センターを訪ねてバージョンアップを一緒に考えます。

▼持続可能な世界のための教育

オーストラリア研修ツアー参加者募集
開発教育の先駆者テッド・トレーナーに会える！

抽籤決定

日程：1997年8月16日～27日

参加費：37万8000円

持続可能な世界のための教育を進める指導者育成のノウハウを詰め込んだ5日間のセミナー。詳細は担当の角田まで。(03-3800-9415)

■参加型で伝える12のものの見方・考え方

国際理解教育センター 78ページ 定価2,100円
ものごとを把握する時の基本的なものの見方・考え方で、参加型手法を整理し、ERICオリジナル実践例を紹介しています。参加型学習の実線がよりよいものになり、そして国際理解教育の範囲だけでなく、他の教科分野で応用されることを願って作られました。

▼夏のファシリテーター養成講座

ERIC 国際理解基礎コース終了者、又参加型研修の経験者であり実践者で、ファシリテーターとしての活動を目指す方々を対象に2泊3日の集中トレーニングを行います。詳細後日。

日程：1997年8月29、30、31日

費用：3～4万円(予定)

担当：高橋

ERICでは土曜日、各種勉強会、ミニ・ワークショップを行っています。

▼連続講座「地球は水球」

日程：9月から5回連続で予定。

参加費：1,000円(各回)

場所：東京都勤労福祉会館

詳細後日：担当 久保

●電話/FAX情報ボックス

03-3800-9414に電話をし、案内が流れ始めたら、希望の情報番号を押して下さい。FAXを希望の場合はFAXに接続された電話で電話して下さい。情報番号#→ビーと鳴ったら→スタートボタン→自動で受信し始めます。(ダイヤル回線の方は通話機の設定をトーン信号に切り替えて下さい)

03-3800-9414 →音声案内001# ●書籍101# ●セミナー102# ●その他103#

→FAX案内一覧002# ●書籍案内/購入案内 004#

●セミナーの予定一覧 051#

ERIC

書籍購入費・研修参加費用は下記のそれぞれの講座に振込願います。

書籍専用 郵便振替口座 00160-3-547794 口座名称 ERIC

研修参加費専用 郵便振替口座 00180-5-710744 口座名称 ERIC事務局

ERIC通信No.7 年4回発行 発行責任者 角田尚子 印刷 株式会社TRY

国際理解教育センター (ERIC) 〒114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F

TEL 03-3800-9416 FAX 03-3800-9414